

青推協だより



回 覧

No. 7 4

発行日 令和 5 年 3 月
発行者 豊田市青少年健全育成推進協議会
豊田市西町 3 丁目 6 0 番地
豊田市子ども部次世代育成課内
Tel. (0565)34-6630

班別研修

コロナ禍で 2 年ぶりに班別研修が実施されました。班別研修とは、役員、理事、育成員、アドバイザー会が 4 つの班に分かれて、他の地区のふれあいまつりの運営や活動を実際に見て、聞いて、体感したり、テーマをもって講演会を行ったりします。他地区の見学や講演会を通して得られたことを、自らの地区活動に活かしていくのが目的の研修です。

【主な活動内容】

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ★ 1 班★・石野他 4 地区ふれあいまつりの視察 | ★ 3 班★・避難所運営ゲーム |
| ★ 2 班★・SNS トラブル防止講演会 | ★ 4 班★・崇化館地区ふれあいまつりの視察 |
| ・美里地区ふれあいまつりの視察 | ・みんなのネットモラル塾 |

今回はその中から、2 班が行った研修をピックアップしてご紹介します。

Pickup !

9 月 1 1 日 (日)、益富交流館において、岡崎女子大子ども教育学部の講師 花田 経子 氏にお願いして、“子どもたちの SNS トラブルどう防ぐ？ どう対応する？”をテーマとして講演会を行いました。

●愛知県警察から提示されている“インターネット利用の 5 つの約束”の紹介

- ①人を傷つけない…LINE や Twitter など、悪口を書きこむことや、人の嫌がることをしない。
- ②自分の情報を教えない…インターネットで知り合った人に、自分の名前、住所などを教えない。
- ③インターネットで知り合った人とは会わない…悪い大人が仲良しのふりをしているかも知れない。
「会いたい」と言われても、会いに行ってはいけない。
- ④人のパスワードを勝手に使わない…人の ID やパスワードを勝手に使ってログインすることは犯罪。
また、自分の ID やパスワードを人に教えてはいけない。
- ⑤困ったことが起きたらすぐに大人に相談する…インターネット上で嫌がらせや、困ったことがあったら、すぐに保護者や身近な大人に相談する。

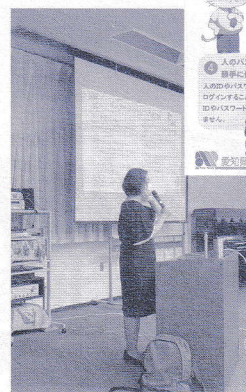
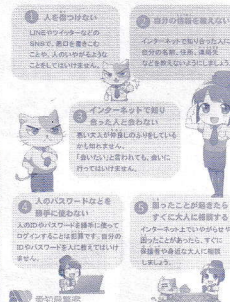
●トラブルの実例と相談

◎書き込んだ内容で位置情報が知られたり、インターネット上で嫌がらせを受けたり、それにより性被害や薬物被害、いじめ、不登校につながる事例もある。子どもは大人に相談したい気持ちはあるが、迷惑をかけたくない、大人に SNS の知識がないため、言っても分かってくれないと思っている。普段からの子どもとのコミュニケーションも必要。

●参加者の感想

- ◎現実に起きているトラブルを聞いて、SNS の怖さを再認識した。
- ◎大人が SNS の知識、聞く姿勢を持って、子どもの相談相手と認識されるようにならなければと感じた。
- ◎普段から大人もスマホばかりに夢中にならず、子どもとのコミュニケーションを大事にしなければと感じた。

インターネット 5 つの約束





各地区の青少年育成事業活動紹介

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつながろう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

抜粋した3地区での取り組みの様子をご紹介します。

☆「社明運動」「ふれあいまつり」 猿投台地区



今年は、規制緩和と万全なコロナ対策のもとに地域の協力を得て6月の社会を明るくする運動、11月のふれあいまつりなど様々な活動を開催することができました。

社明運動は、コロナで直近2年間開催できていませんでしたが、小・中・高世代ごとの主張発表やアトラクションなど、素晴らしい内容でした。入場制限があったので、多くの人に見てもらうことができなかったのが心残りです。ふれあいまつりでは、まだ部会での飲食販売は難しく射的や輪投げなどのゲームが中心となりましたが、芸能や作品展示、体験コーナーなど各種大盛況で多く方にご来場いただきました。

今後も二十歳のつどいや平戸橋桜まつりなど無事に開催できるように取り組んでいきます。

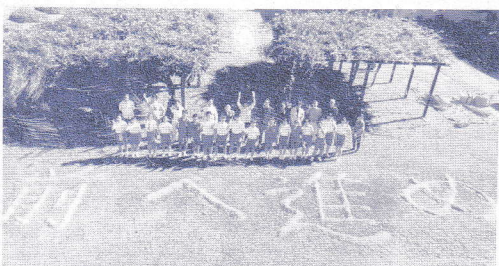
☆「社明運動」「まごころフェスタ 2022」 浄水地区

浄水地区では6月18日豊田市保護司会と青少年運営委員会共催で、「社会を明るくする運動」を実施しました。中学生ボランティアもタスキをかけて大きな声で呼びかけてくれました。3年振りに中学生3名による意見発表大会を行い、来場者の皆さんは発表を熱心に聞かれて、大きな拍手も起こり、大変有意義な大会となりました。

また、10月30日は「まごころフェスタ 2022」を「中学校と交流館で奏でるハーモニー」というテーマで3年振りに開催しました。テーマ通り中学校と地域コミュニティが一体となり、子どもから大人の幅広い年代の方々の参加で、来場者の皆さんのお顔も笑顔いっぱいの交流が深まったまごころフェスタでした。



☆「もみがらアート」「社明運動」「ふれあいフェスタ」 藤岡地区



令和4年10月に藤岡中学校PTAとの共催で、中学生17名と青少年部会9名で「もみがらアート」を作成しました。生徒たちが考えた「前へ進め」の文字をビニールひもで作成し、その上にもみがらをかぶせて水で固めました。とても素晴らしい作品になりました。

7月9日は保護司会との共催で、藤岡コミュニティ広場にて開催されたおいでん夏まつりの中、「社会を明るくする運動」の一環として啓発チラシを配布しました。多くの人に啓発活動ができました。

11月16日には3年ぶりとなるふれあいフェスタが交流館で開かれ、75名の中学生がボランティアスタッフとして参加し、お菓子すくいなどの出店に協力していただきました。地域の方々にも喜ばれ、とても盛況な行事となりました。

今後も「二十歳のつどい」などの行事で地域みなさんと協力していきたいと思っています。